

## 一般質問

# 町政を問う 6人が登壇!

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。1人の持ち時間は30分です。(質問のみ、執行部の回答は除く)



**丸山 康夫** 議員 ————— 8P

- ◆国際交流で  
次世代の宇美町を担うリーダーの育成を
- ◆学校教育施設のトイレ改修の推進は

**高橋 紳章** 議員 ————— 9P

- ◆子育てしやすい町を目指し  
親子が集える憩いの場の整備方針は

**入江 政行** 議員 ————— 10P

- ◆子育て家庭の困窮対策は
- ◆マイナンバーカードの問題点にどう対応するか

**鳴海 圭矢** 議員 ————— 11P

- ◆ひばりが丘のり面災害復旧の展望、安全性は
- ◆マイナンバーカードと健康保険証の  
一体化をめぐる当町の現状は

**黒川 悟** 議員 ————— 12P

- ◆宇美町が取り組むDXとは
- ◆進まない空き家対策の今後の取組は

**安川 禎幸** 議員 ————— 13P

- ◆自治会活動の現状と課題は

各議員の質問の様子を  
動画でご覧いただけます





丸山 康夫 議員



録画配信は  
こちらから

## 国際交流で 次世代の宇美町を担う リーダーの育成を

(質問のねらい)

少年の翼事業が廃止になったことに伴い、これまでに町がおこなってきた国際交流事業の検証および今後の青少年国際交流事業のあり方を問う。

**問** 少年の翼事業の概要は。

**答** 社会教育課長  
特別史跡大野城跡が百済(現大韓民国扶餘)の高官の指導で築造されたことから昭和61年より扶餘と交流を開始し、平成30年までの33年間で610名を派遣、223名の受け入れを行った。

**問** 少年の翼事業の成果は。

**答** 社会教育課長  
本事業を通して、コミュニケーションや語学の大切さを学んだ。韓国の歴史や文化に触れ、本町との深いつながりを学んだことで愛郷心が深まったことも大きな成果と考える。

**問** 廃止になった経緯は。

**答** 社会教育課長  
日韓問題の理由により、扶餘郡から当面の間、交流事業を見送る旨の申し出があり、その後、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により交流事業を廃止する旨の文書を交わし、事業廃止が決定した。

**問** リーダー育成の観点から国際交流事業を計画できないか。

**答** 社会教育課長  
宇美町の青少年が国際交流に参加する機会を提供する大切さは認識している。

**問** 英語圏やヨーロッパ諸国との交流を検討してよい時期と考えているが見解を。

**答** 社会教育課長  
英語圏やヨーロッパ諸国に限らず他の地域

も含めて調査研究を進めていきたい。

**問** 今後の国際交流事業の方針は。

**答** 町長  
宇美町少年の翼事業が成し得なかったものをもう一度取り戻すためにも青少年のリーダー育成事業を再構築したいと考えている。語学を身に付けるだ

けでなく、自国の歴史・文化・アイデンティティーを語れなければ意味がない。教育委員会には、しっかり議論・調査し方向性を出せるよう指示したい。

学校教育施設のトイレ改修の推進は



日本スポーツ少年団主催の日独スポーツ少年団交流事業で、宇美町スポーツ少年団とドイツ団が和太鼓で交流

ズにに応じて、キャンプエリアや子どもが安心して自然と触れ合える遊びの環境整備等、エリアを設けて整備を進めていく必要がある。令和6年度に基本となる計画の策定を目指したい。

球技に利用されており、駐車場は利用者の利便性を図る重要な施設であり、その駐車場に隣接する南側斜面は子どもたちの安全性を考えると整備は難しい。

## 子育てしやすい町を目指し 親子が集える憩いの場の 整備方針は

(質問のねらい)

「産み育てるなら宇美町がいい」といわれるように子育てがしやすいまちづくりのためにも、親子が安心して集える場所の実現を願い町の方針を問う。



高橋 紳章 議員



録画配信は  
こちらから

**問** 団地内などにある公園の遊具や砂場の管理状況は。

**答** 環境課長  
遊具は年1回定期点検を実施。安全確保のため部分修繕を行っている。砂場は自治会からの要望があれば砂入れや清掃を行っており、猫などのふん尿被害については、対策用品を試験的に使用し検証していく。老朽化した遊具は計画を立て、順次更新していく。

**問** 南町民センター芝生広場を開放したが、その利用状況は。また、時間や場所を拡充する考えは。

**答** 社会教育課長  
令和5年4月から公

**問** 一本松公園猫石側キャンプ場のバンガローが使用できないのであれば、小川を含めた一帯をキッズパークに整備できないか。

**答** 都市整備課長  
一本松公園猫石側の遊具等を含む子どもが遊べる環境整備は、局所的な整備にとどめるのではなく、一本松公園の全体的な整備が必要と考えている。今後の整備については、時代の流れやニ-



一本松池広場で水遊び

**問** 総合スポーツ公園の南側斜面と第一駐車場を利用して子どもが遊べる公園を整備できないか。

**答** 都市整備課長  
公園の利用形態は陸上競技やサッカー等の

**問** 総合スポーツ公園の観覧席や競技場の周りに日よけが一切ない小さな子どもと一緒に過ごせるように日よけ対策ができないか。

**答** 社会教育課長  
熱中症の問題もあるため、日よけ対策の必要性があると認識している。



入江 政行 議員



録画配信は  
こちらから

## 子育て家庭の 困窮対策は

(質問のねらい)

コロナ禍で蓄えも底をつき、さらに物価高騰の影響で生活が困窮している「困窮子育て家庭」への支援対策を問う。

**問** 町として、子育て家庭の困窮状況を把握しているか。

(1食当たり110円以下)の家庭が4割となり、週2・3日食事を抜くなど、栄養バランスの良い食事を与えられず、栄養失調を心配する声や、熱中症など健康被害の広がりが多い。危険な状況と指摘されている。

**答** 学校教育課長 就学援助事業として小中学校に入学する際の学用品代として就学援助費の支給や教育相談などの支援を行っている。

**答** 福祉課長 子育て家庭の困窮者に関する具体的な定義等がされていないため正確な把握はできていない。

**問** 町として対策は考えているか。

**答** 福祉課長 当該の窓口では、県が支給する児童扶養手当の申請対応、生活保護や各種支援の相談業務を行う。

**問** 町では、ひとり親家庭、母子・父子家庭等を対象とした児童扶養手当の受給者を把握しており、現在460人の方が対象となっている。その中で年収300万円以下(所得で200万円以下)になる方が360人いる。このうち、同居家族の支援や養育費等の有無を加味すると実際の困窮者数はさらに少なくなると思われる。

**答** ひとり親家庭等に対する医療費の支援を行う。

**問** 自治体は困窮家庭の実態を早急に把握し、現金給付や食糧支援、無料で涼しく過ごせる居場所や学習スペースの確保等対策を講ずることが急務である。

**答** 福祉課長 町独自で、長期的な対応・対策は、人員や予算的に困難である。しかしながら、子育て家庭の困窮対策は、就労支援・教育支援・生活支援・経済的支援の4つの支援が総合的に必要



マイナンバーカードの問題点にどう対応するか

**問** 家計が厳しくなつた中で、1人当たりの食費が月1万円以下

**答** こどもみらい課長 保健師や養育支援訪問員による家庭訪問、乳幼児健診により、母子の健康状態のほか、生活の様子、経済的不

**答** 福祉課長 町独自で、長期的な対応・対策は、人員や予算的に困難である。しかしながら、子育て家庭の困窮対策は、就労支援・教育支援・生活支援・経済的支援の4つ

**問** 本年7月の大雨による、ひばりが丘のり面崩壊の経過と現状は。

**答** 都市整備課長 7月8日から10日にかけての大雨で新たな湧水箇所が発生し、のり面崩壊が拡大したと考えられる。

**問** のり面崩壊に樹木の伐採が影響しているという意見もあるが。

**答** 都市整備課長 復旧工事完了後も安心して利用できる町道造りに努めていきたい。

**問** 復旧の経路は、型土のうを設置し町道部への土砂流出対策を実施した。

**答** 都市整備課長 今回の崩壊を受けて新たな湧水発生等が想定されることから福岡県と協議し、原形復旧にこだわらず形状変更も含めた工法の再検討を行う。

**問** 以前、志免町桜丘につながる道を開放できなかった。

**答** 都市整備課長 今回の災害を踏まえ、緊急時の開放を志免町と協議し、桜丘に要望したが、地元の合意を得ることができなかった。

**問** 復旧の予算についてはどうなるのか。

**答** 都市整備課長 これまでに完成して

**問** 町道の安全性を確保できるのか。

**答** 都市整備課長 崩壊した箇所については、のり面の安定計算を行った上で安全性を考慮した設計をする。

## ひばりが丘のり面 災害復旧の展望、安全性は

(質問のねらい)

令和3年8月の大雨により被災してはや2年余りが過ぎた。度重なる工期の延長により地元の不安・不満の声があり、復旧の展望を問う。



鳴海 圭矢 議員



録画配信は  
こちらから

**問** 復旧の予算についてはどうなるのか。

**答** 都市整備課長 これまでに完成して



崩壊した ひばりが丘のり面

マイナンバーカードと健康保険証の一体化をめぐる当町の現状は



くろかわ さとる 黒川 悟 議員



録画配信はこちらから

## 宇美町が取り組むDXとは

(質問のねらい)

デジタル技術を活用し、どのように行政サービスの利便性を向上させるのか、行政事務の効率化を図るのか、宇美町の自治体DXの取組を問う。

**問** 当町のデジタル化の現状は。

**答** 総務課長

国が指定した行政手続きのオンライン化を進めるとともに、町独自の取組として、ペーパーレス会議システムやウェブ会議システムやウェブ会議システムの推進。また、AIを活用した「のるーと」導入などデジタル田園都市国家構想に寄与する取組も行っている。

**問** 書かない窓口、行かない窓口の推進は。

**答** 総務課長

書かない窓口は、マイナンバーカードから電子的に住所・氏名・生年月日・性別の4情報を読み取ることによって、職員がヒアリングすることにより、来庁者の書く手間を省略できるもの。行かない窓口は、オ

ンライン申請、リモート窓口、移動窓口などがあげられる。何が取り入れ可能か庁内担当部会で検討する予定。

**問** 当町が目指すDXとは。

**答** 町長

デジタル技術はあくまで手段、町民の生活をあらゆる面でよい方向に変化させることが目的。

業務の効率化・手続きの簡素化を進め、職員の人的資源を確保し、行政サービスの質の向上を図ることが重要。

まずは、行かない窓口を優先し、所得証明もコンビニで取得できないか調査研究したい。

## 進まない空き家対策の今後の取組は

(質問のねらい)

第7次総合計画の施策の方向性に空き家対策の推進とあるが、危険な空き家がなかなか改善されない状況である。法律の一部改正に伴う今後の取組を問う。

**問** 空き家対策特措法が改正されたが今後の対応は。

**答** 環境課長

放置すれば「特定空き家」となる恐れがある空き家を「管理不全空き家」として指導・勧告できる。勧告した場合、固定資産税の住宅用地特例が解除される。

所有者に冊子を配布し危険な空き家の増加防止を図る。

**問** 空き家対策の強化について町の考えは。

**答** 町長

指導強化と代執行制度を実施するための体系づくり、空き家等活用促進区域を指定し建て替えを促進することが重要。

また、空き家バンクなどを活用し移住定住者を増やしたい。



## 自治会活動の現状と課題は

(質問のねらい)

近年、自治会を巡る状況は大きく変化している。また、自治会加入者の減少や役員の担い手不足等、さまざまな問題が発生している。自治会活動の現状と課題を問う。

**問** 現在の自治会数、自治会加入世帯数は。

**答** 地域コミュニティ課長

平成29年に井野と新井野が合併し、現在は48自治会となっている。自治会加入世帯は12088世帯で加入率は74.9%。

**問** 就労年齢が上がり定年後も仕事をする人が増加しており、自治会役員のなり手が減少している。自治会役員の業務を軽減するため役場の自治会に対する窓口を一本化できないか。

**答** 地域コミュニティ課長

自治会側の混乱を避け、窓口の利便性と役場内の事務手続きの煩雑さを減らすことにもつながるため、窓口一本化に向けた

協議を進める。

**問** 自治会からの書類の提出をメール等のオンラインで行えないか。

**答** 地域コミュニティ課長

自治会長の印が必要でないものは電子メール等で提出が可能。交付金や補助金の申請は自治会長の印が必要なため、書面の提出を求めている。

今後のオンライン化については、書類提出先の部署や自治体DX担当課と協議を行う。

**問** 自治会の合併について町の考えは。

**答** 地域コミュニティ課長

合併は自治会同士の合意形成が必要。合併により大きな規模になることで、これまで取り組めなかった

問題解決が図れるメリットがある。合併の相談等あればサポートを行っている。

**問** 自治会の合併に対する支援体制とインセンティブは。

**答** 地域コミュニティ課長

合併の際は、宇美町自治会合併補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。当課では合併等についての相談体制を整えている。

**問** 自治会、地域コミュニティの将来像は。

**答** 町長

アフターコロナを見て、据えて地域コミュニティを次のステージに引き上げたいという思いから「地域コミュニティ課」を創設した。地域活動、町民活動が活発であるという宇美町の特徴を生かして、自治会やコミュニティ運営協議会等と力を合わせ、共働して魅力ある宇美町をつくってきたい。



やすかわ よしゆき 安川 禎幸 議員



録画配信はこちらから

自治会側の混乱を避け、窓口の利便性と役場内の事務手続きの煩雑さを減らすことにもつながるため、窓口一本化に向けた

合併は自治会同士の合意形成が必要。合併により大きな規模になることで、これまで取り組めなかった



大いに盛り上がった原田下自治会夏祭り